

# 他のバージョンが有効にされている間の SNMP v1 または SNMP v2c の無効化

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

他のバージョンがイネーブルになっている間、この文書に SNMP バージョン 1 かバージョン 2c をディセーブルにする方法を記述されています。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

この資料は 12.0(3)T をまたはより高く実行するあらゆる Cisco IOS<sup>®</sup> デバイスのために有効です。この資料の手順は 15.2(2)T を実行する Cisco 2821 で確認されました。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [手順](#)

インターネット セキュリティを与えられる簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) バージョン 1 および 2c においての、頻繁にユーザ セキュア SNMP バージョン 3 User Security Model

( USM ) を支持してコミュニティ・ベース SNMP をディセーブルにすることを選択します発行します。ただし、時々コミュニティ・ベース SNMP をレガシーアプリケーションのためにイネーブルの状態にしておくことは好ましいです。

SNMPv2c がイネーブルになっている間、アプリケーションが最も正確なデータを入手できることを確かめるために、またより拡張が容易な SNMP GETBULK メッセージタイプからの利点、SNMPv1 を無効にすることができます。

SNMP コミュニティストリングが設定される度に、内部でデバイスはそのコミュニティのための 2 つの SNMP グループを設定します: v1 のための 1 つグループおよび v2c のための他のグループ。プロトコルバージョンの 1 つを無効にするために、そのグループは削除する必要があります。

グループを削除するコマンドは `no snmp-server グループ <community> v1` です。

たとえば、このコミュニティを設定されます考慮して下さい:

```
Router(config)#snmp-server community public ro
```

デバイスはこれらのグループを作成します:

```
Router(config)#snmp-server community public ro
```

コマンド `no snmp-server group public v1` が設定されるとき、SNMPv1 のための公共グループは取除かれ、デバイスへの SNMPv1 要求は無視されます。

この手順はデバイスで設定されるすべてのコミュニティ ストリングのために実行された必要があります。

## [関連情報](#)

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)